

投資情報 ウィークリー

2024/05/13



もっと豊かに、ヒューマンライフ。

三津井証券株式会社

商号等／三津井証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号

加入協会／日本証券業協会

本レポート末尾の「投資にあたっての注意事項」をお読み下さい。

投資情報ウィークリー

2024 年 5 月 13 日号

調査情報部

相場見通し

■ゴールデンウィーク後（7～9 日）の日本株

ゴールデンウィーク後の日本株は乱高下した。週初は、連休中に米国金融市場で FRB による利下げ観測が再燃した他、大型ハイテク株の業績堅調などで米国株が上昇したことを背景に、日経平均は 599 円高となった。ただ、政府・日銀の円売り介入（観測）にもかかわらず、円安の歯止めが掛からないリスクなどから日銀の早期利上げ観測が出た他、決算発表で市場予想に届かなかった銘柄が大きく売られ、日経平均は 8 日に 632 円安、9 日には 38000 円台まで下落した。

■FOMC（4/30～5/1 開催分）でのポイント

FOMC では政策金利の据え置きを全会一致で決めた他、QT（量的引き締め）も 6 月から減速（米国債の削減額を月上限 600 億ドルから 250 億ドルに）する方針。注目すべきは、次の政策金利の見直しが「利上げになる可能性は低い」という FRB 議長の記者会見でのコメント。現状の景気・インフレ指標等から見れば、今後の政策は現状維持か、或いは「利下げ」かの二者択一であるというハト派的な発言であろう。なお、4 月米雇用統計では労働需給の緩和継続が確認された上、4 月 ISM 非製造業景況指数は 49.4 と 50 を割り込んだため、米 10 年債利回りは今月に入って低下している（9 日は 4.4%台）。14 日の 4 月 PPI、15 日の 4 月 CPI 及び小売売上高が重要な指標となるが、そこで波乱がなければ FRB による年内利下げ（1～2 回程度）期待の高まり、米金利のピークアウト感が確認される可能性に期待する。

■今週の日本株見通し

テクニカル面では、TOPIX は、3 月 22 日の高値（2820.45pt）から 4 月 19 日まで急落したが、その後は自律反発をみせている。先週に一時割り込んだ 25 日 MA（移動平均線）を週末に回復するなど、底堅い動き（参考：日経平均は 25 日 MA の攻防戦を演じているが、日本株の実態を見る指数は TOPIX が有効と考えている）。また、TOPIX の長期の上昇トレンドは盤石とみられる。

足元では決算発表のピークを迎えている。同時期の傾向と言えるであろうが、今期の業績計画にポジティブサプライズがない、中でも年初から急上昇していた銘柄の株価が急落（利益確定などによる）するケースが目立つ。尤も、外部環境が不透明な局面での会社計画は、総じて保守的になるもの。勿論、銘柄の選別が重要となるが、グローバル景気や為替動向を鑑みれば、早ければ第一四半期時に、或いは中間決算期で上方修正が増えてくると想定され、押し目買いで臨みたい。

トヨタは 1 兆円、第一三共、日立、三井物産は 2000 億円、コマツ、郵船、川崎汽船は 1000 億円など、東証の要請に対応、自社株取得を発表する銘柄が増えてきた他、取得上限（予定金額）自体も増えている。また、業績堅調から増配計画の銘柄も多く、自社株買いと合わせた総還元性向（計画）も高まりそうで、日本株の買い材料として期待。来月に本格化する 2024 年株主総会も注目したい。成長戦略、資本効率改善策、株主還元策などに関する提案、議案がアクティビストなどから多く出される可能性がある。

■円安リスク

円安進行がリスク。円安批判の高まり、輸入物価上昇、実質賃金の減少、消費の低迷など、また政府と日銀の温度差などから、植田日銀総裁は 8 日に、為替相場は経済・物価に重要な影響を与え得る、相場の動向次第では金融政策運営上の対応（利上げ）が必要になってくるなどと述べた。当面は、早期の利上げリスクが日本株の上値を抑える要因になりそう。（増田 克実）

主な決算発表予定 ①

銘柄	発表日	24/3期営業利益予想		24/3期純利益予想		25/3期予想(QC)	
		(日経)	(QC)	(日経)	(QC)	営業利益	税引利益
1801 大成建	24/05/13	26,400	49,000	40,200	41,000	80,000	57,000
1802 大林組	24/05/13	74,000	73,613	59,000	60,175	89,513	73,588
1803 清水建	24/05/13	-24,600	-29,000	17,100	15,500	67,000	47,500
2181 パーソルHD	24/05/13	49,000	49,904	29,400	29,886	57,048	34,668
2897 日清食HD	24/05/13	75,000	78,356	54,500	56,542	85,120	61,155
3402 東レ	24/05/13	105,000	98,080	21,900	61,260	129,802	85,183
4021 日産化	24/05/13	48,600	48,000	38,400	37,871	52,957	40,314
4091 日本酸素HD	24/05/13	163,000	166,871	97,000	100,696	166,403	101,657
4203 住友ベ	24/05/13	27,000		21,500	22,300		25,060
4208 UBE	24/05/13	22,500	17,400	29,000	21,950	20,750	23,500
4507 塩野義	24/05/13	150,000	162,008	155,000	163,015	148,656	153,611
4980 テクセリ	24/05/13	32,000	32,340	20,000	20,380	35,460	24,140
5803 フジクラ	24/05/13	63,000	63,586	45,000	45,297	71,521	49,252
5929 三和HD	24/05/13	60,000	61,383	40,000	42,064	61,057	40,617
6368 オルガノ	24/05/13	22,000	21,620	17,000	16,459	23,600	17,200
6845 アズビル	24/05/13	33,700	35,532	27,000	27,750	36,242	26,162
6849 日本光電	24/05/13	22,200	21,386	15,500	15,728	23,276	16,005
7269 スズキ	24/05/13	430,000	447,774	240,000	260,090	484,032	290,271
7911 TOPPAN	24/05/13	70,000	70,267	68,000	66,933	88,000	71,600
7912 大日印	24/05/13	67,000	69,575	88,000	95,700	78,125	89,550
7988 ニフコ	24/05/13	41,300	41,788	10,900	16,773	45,700	28,700
8088 岩谷産	24/05/13	45,000	45,767	33,500	34,067	47,067	41,333
8279 ヤオコー	24/05/13	26,300	30,282	16,000	19,602	32,588	20,964
9005 東急	24/05/13	90,000	91,200	60,000	60,920	91,560	63,720
9065 山九	24/05/13	33,500	35,535	23,000	24,254	39,470	26,706
9684 スクエニHD	24/05/13	55,000	44,960	38,500	33,980	57,504	41,284
9984 SBG	24/05/13			400,000	27,797		455,973
1662 石油資源	24/05/14	50,700	50,700	45,000	44,650	40,975	33,950
1812 鹿島	24/05/14	144,000	146,050	107,000	110,100	156,513	119,625
1963 日揮HD	24/05/14	-19,000	27,850	-8,000	23,475	47,117	37,402
1969 高砂熱	24/05/14	23,000	23,250	18,300	17,850	25,650	19,250
2267 ヤクルト	24/05/14	67,000	64,757	52,000	50,897	67,648	52,509
2331 AL SOK	24/05/14	38,600	39,690	25,500	26,323	42,162	27,762
2784 アルフレッサ	24/05/14	38,400	38,800	29,500	27,500	40,500	28,700
2871 ニチレイ	24/05/14	36,500	37,172	24,000	24,667	39,569	26,651
3099 三越伊勢丹	24/05/14	50,000	51,044	40,000	42,052	56,927	43,401
3291 飯田GHD	24/05/14	56,000	56,000	31,000	31,000	76,750	50,750
3397 トリドール	24/05/14	10,000	12,325	4,800	5,995	15,600	7,493
3861 王子HD	24/05/14	72,000	82,200	50,000	58,400	113,500	72,600
4401 ADEKA	24/05/14	34,500	34,463	21,000	21,563	38,863	24,254
4543 テルモ	24/05/14	140,000	141,839	105,000	107,976	164,586	125,379
5019 出光興産	24/05/14	250,000	283,633	180,000	208,167	213,917	163,867
5020 ENEOS	24/05/14	420,000	445,717	240,000	248,767	429,050	229,367
5233 太平洋セメ	24/05/14	58,000	60,357	40,000	42,443	76,386	51,958
5711 三菱マ	24/05/14	30,000	31,400	38,000	38,132	39,692	39,990
6113 アマダ	24/05/14	57,000	57,275	39,000	40,128	59,675	41,760
6273 SMC	24/05/14	201,000	209,157	170,000	178,257	250,257	201,500
6758 ソニーG	24/05/14	1,180,000	1,207,192	920,000	932,369	1,314,152	988,995
6951 日電子	24/05/14	24,500	25,075	18,000	18,615	29,650	22,078

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。QCはクイックコンセンサス
予定が変わることがあります。業績予想は5月8日現在。

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

主な決算発表予定 ②

銘柄	発表日	24/3期営業利益予想		24/3期純利益予想		25/3期予想(QC)		
		(日経)	(QC)	(日経)	(QC)	営業利益	税引利益	
6952	カシオ	24/05/14	18,000	16,986	14,000	13,343	23,071	16,543
7202	いすゞ	24/05/14	280,000	288,087	165,000	172,799	291,640	178,588
7459	メディカル	24/05/14	49,000	49,400	35,200	36,700	52,167	36,300
7550	ゼンショーHD	24/05/14	51,000	48,800	30,000	27,267	56,167	32,300
8111	ゴールドウイン	24/05/14	22,600	23,414	21,700	22,739	26,043	24,795
8136	サンリオ	24/05/14	26,800	27,797	17,400	18,911	33,098	22,820
8252	丸井G	24/05/14	42,000	41,600	24,000	24,206	45,913	26,719
8308	りそなHD	24/05/14			150,000	151,900		169,475
8309	三井住友トラ	24/05/14			85,000	77,113		217,350
9007	小田急	24/05/14	47,000	47,800	73,000	73,000	50,773	40,612
9042	阪急阪神	24/05/14	102,700	106,175	64,000	65,625	107,525	67,150
9076	セイノーHD	24/05/14	24,918	24,315	16,100	16,500	29,183	19,725
9401	TBSHD	24/05/14	15,000	16,357	36,200	38,661	20,988	29,513
9843	ニトリHD	24/05/14	145,100	135,951	100,000	93,548	149,210	102,509
9987	スズケン	24/05/14	34,800	31,800	29,000	28,900	27,100	26,300
2002	日清粉G	24/05/15	46,000	50,460	30,000	33,240	53,140	35,520
4005	住友化	24/05/15	-489,000	-287,000	-312,000	-267,275	47,333	24,675
4183	三井化学	24/05/15	69,000	71,046	50,000	51,308	117,085	81,040
4188	三菱ケミG	24/05/15	295,000	271,089	135,000	122,160	275,322	119,450
4523	エーザイ	24/05/15	51,000	52,390	41,500	42,935	63,220	50,656
5991	ニッパツ	24/05/15	27,000	28,233	35,000	36,517	37,167	28,967
6098	リクルート	24/05/15	407,000	417,103	354,000	354,614	434,714	341,478
6178	日本郵政	24/05/15			270,000	244,400		298,400
7181	かんぽ生命	24/05/15			82,000	81,050		82,233
7182	ゆうちょ銀	24/05/15			335,000	338,065		352,996
8253	クレセゾン	24/05/15			64,000	63,039		53,277
8306	三菱UFJ	24/05/15			1,300,000	1,415,631		1,489,977
8316	三井住友FG	24/05/15			920,000	933,758		988,625
8411	みずほFG	24/05/15			640,000	657,833		704,842
8750	第一生命HD	24/05/15			273,000	283,488		305,563
8795	T&D	24/05/15			99,000	105,200		99,400
9989	サンドラッグ	24/05/15	40,300	42,267	27,200	28,733	45,250	30,933
8630	SOMPO	24/05/20			324,000	339,138		317,188
8725	MS&AD	24/05/20			350,000	338,183		410,017
8766	東京海上	24/05/20			670,000	660,300		659,150

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。QCはクイックコンセンサス

予定が変わることがあります。業績予想は5月8日現在。

投資のヒント

☆ TOPIX1000 採用 3 月決算で 5 月 9 日までに決算を発表した主な業績堅調銘柄群

東証プライム上場の 3 月期企業で、5 月 9 日までに決算発表を行った銘柄は 430 銘柄あり、予想経常利益が増益見通しである銘柄は全体の約 6 割に相当する 259、二桁以上の増益見通しも 110 に達している。株式市場においても、株主還元策狙いのバリュー系銘柄への集中物色が峠を越え始めており、物色対象も中小型株を含めて広がりが出始めていることから、今回はスクリーニング対象を TOPIX1000 に拡大した上で、3 月期決算で 9 日までに決算を発表した主な業績堅調銘柄を増益率の大きい順に掲載した。日足・週足で見てテクニカル的に好位置にある銘柄も多く、注目したい。(野坂 晃一)

表. TOPIX1000採用3月決算で9日までに決算を発表した主な業績堅調銘柄群

コード	銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	配当利回 り(%)	今期経常利 益伸率(%)	信用倍率 (倍)	5日カイ離 率(%)	25日カイ離 率(%)	13週カイ離 率(%)	26週カイ離 率(%)
7012	川重	5607	78.2	1.65	0.71	244	4.58	11.41	16.43	19.69	41.21
6702	富士通	2363	19.2	2.48	1.18	107.7	1.49	-1.87	-3.84	-2.71	3.92
3407	旭化成	1132.5	19.6	0.89	3.17	100.8	3.66	2.22	2.88	3.74	5.53
6902	デンソー	2623.5	14.5	1.37	2.43	77	4.18	-1.07	-6.68	-5.74	3.56
4503	アステラス	1541	92.1	1.73	4.8	72.2	34.14	-0.33	0.45	-3.51	-7.02
4540	ツムラ	3692	17.3	1.03	1.89	68.1	12.4	-1.4	-3.4	4.19	18.16
6448	ブラザー	2801.5	14.3	1.09	2.42	67.5	0.98	0.32	-1.31	3.04	8.67
7966	リンテック	3455	18.1	1.01	2.54	56	3.34	5.65	10.31	9.39	18.44
4536	参天薬	1548	19	1.88	2.13	50.6	23.16	0.88	4.79	3.13	5.95
7259	アイシン	5650	11.7	0.71	3.18	50.1	17.66	-1.28	-5.44	-2.47	2.2
6146	ディスコ	50960	46	13.62	0.6	38.9	6.85	4.4	-1.61	0.7	18.43
6701	NEC	10805	17.4	1.5	1.29	34.6	2.96	-2.56	-2.64	0.5	11.51
8053	住友商	4159	9.5	1.14	3.12	32.7	3.22	-1.13	7.41	10.91	19.78
6981	村田製	2784.5	22.3	2.05	1.93	30.7	8.19	-1.52	-0.36	-2.79	-3.86
6471	日精工	869.2	30.3	0.68	3.45	27.8	2.75	1.11	-0.54	2.85	6.8
7951	ヤマハ	3624	17.5	1.16	2.04	23.6	2.17	7.49	10.81	11.16	10.12
3110	日東紡	5720	32	1.85	0.78	23.1	2.13	1.59	4.07	1.17	11.26
9201	JAL	2711.5	11.8	1.3	2.95	22	43.73	-1	-4.11	-3.42	-3.62
6976	太陽誘電	3321	37.6	1.25	2.71	19.9	11.3	-7.34	-7.76	-5.33	-7.29
2768	双日	4174	8.2	0.98	3.59	19.5	9.21	-1.8	4.58	5.11	14.44
4043	トクヤマ	3131	9	0.9	3.19	17.9	46.77	-0.47	7.96	14.99	23.06
6503	三菱電	2766	18.3	1.54	1.8	17.5	2.58	-2.08	8.22	10.81	21.12
6923	スタンレー	2754	14.2	0.84	2.21	16.9	13.84	-1.51	-1.03	1.13	1.41
9142	JR九州	3386	13	1.21	2.74	15.9	47.85	-0.41	-2.33	-2.57	1.84
5411	JFE	2303.5	6.6	0.59	4.77	15.5	11.67	-0.74	-4.27	-5.28	-1.15
8012	長瀬産	3064	12.4	0.88	2.77	15.1	3.01	10.52	16	17.23	24.02
9962	ミスミG	2803	22.9	2.29	1.3	14.9	3.37	2.02	18.68	22.36	20.27
6201	豊田織	15255	18.2	0.78	1.83	14.8	4.44	1.08	5.23	1.78	12.12
7832	バンナムHD	2975	19.8	2.78	2.01	14.2	7.41	-0.14	2.98	2.64	1.84
4088	エアウォーター	2411	12.4	1.19	2.48	13.9	16.11	1.9	3.49	4.34	13.54
6857	アドテスト	5106	56.2	8.74	0.68	13.9	10.67	-0.76	-9.34	-18.15	-10.03
5333	ガイシ	2109.5	11.8	0.9	2.84	12.6	8.2	-0.73	1.6	4.29	11.21
4921	ファンケル	2017	24.3	3.04	1.68	12.1	5.1	7.55	6.25	1.12	-6.31
4063	信越化	5795	19.2	2.71	1.72	11.8	13.07	-1.82	-7.08	-8.25	-2.51
6869	シスメックス	2704	32.4	4.15	1.03	10.6	12.02	1.56	7.09	2.63	2.11
6971	京セラ	1890.5	23.7	0.82	2.64	10.2	6.79	-0.59	-1.95	-7.37	-8.25
4307	野村総研	4054	26.5	5.84	1.43	10	3.75	0.57	0.47	-1.58	-2.35
6367	ダイキン	22825	25.3	2.7	1.05	10	15.23	2.24	10.53	9.23	4.19
9719	SCSK	2912.5	20.4	3.01	2.33	9.6	2.15	0.59	3.8	3.52	3.88
8001	伊藤忠	7146	-	1.89	2.79	9.5	3.52	-1.05	4.36	6.1	11.01
2802	味の素	5759	29.5	3.66	1.28	9.1	2.51	-1.26	2.05	2.44	2.59
2371	カカコム	1846.5	20.8	7.59	2.49	8.7	5.06	0.93	2.27	3.14	5.61
7518	ネットワン	2961	16.3	3.06	2.9	8.6	4.57	9.91	9.76	9.54	18.06
8015	豊田通商	9709	9.7	1.38	3.08	8.6	11.18	-1.88	-1.67	-1.09	4.24
6594	ニデック	6956	24.2	2.43	1.15	8.4	5.8	-2.54	4.55	11.37	17.06
6370	栗田工	6240	25	2.22	1.34	7.9	2.38	-0.58	0.76	0.85	8.19
3092	ZOZO	3404	22.3	11.92	3.14	7.4	1.77	-0.78	-2.05	-3.93	1.08
7752	リコー	1307.5	16.3	0.75	2.9	7	1.14	-2.25	-3.65	-1.08	5.68

※指標は5/9時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

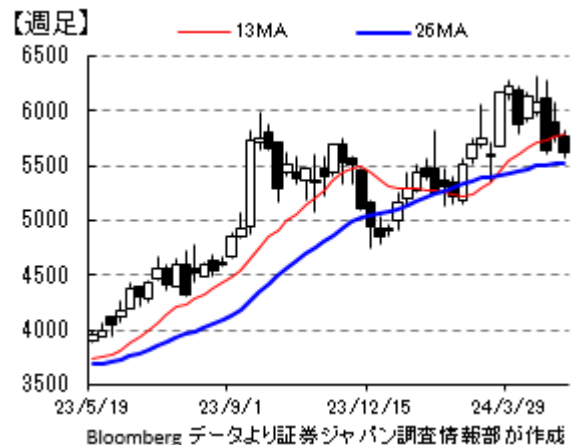
7259 アイシン

トヨタ系部品大手で、自動変速機では世界トップ。21年4月に子会社 AW と統合。

24年3月期業績は売上収益が前年比 11.5%増の 4兆 9095.5 億円、営業利益が同 147.5%増の 1433.9 億円となった。第3四半期に下方修正した営業利益計画(1500 億円)に未達となったが、トヨタの減産などが影響した可能性がある。売上収益は日米を中心に車両生産台数の増加や円安(1ドル 136 円→145 円)に加え、電動ユニットの販売台数増加(HEV・eAxle 販売台数 136 万台→226 万台)により増収となった。得意先別ではトヨタグループ向けが同 13.0%増となったほか、長安汽車が同 36.1%増、ホンダが同 27.7%増、ボルボが同 12.1%増と好調だった。営業利益は品質関連費用を第3四半期に計上したものの、事業環境の改善や構造改革効果などにより増益となった。

続く 25 年 3 月期は売上収益 4 兆 9200 億円(前期比 0.2%増)、営業利益 2200 億円(同 53.4%増)と増収増益を見込む。為替前提は前期水準の 1 ドル 145 円。自動車生産台数の増加は小幅にとどまるものの、前期の品質関連費用の剥落に加え、構造改革効果が引き続き利益を押し上げる見通し。

なお、同社は中計で、25 年度までに総資産の 10%(4000 億円)を目標に保有資産圧縮を進めており、事業資産の圧縮や保有株式の売却、グローバル在庫の圧縮などを進めている。また、電池骨格(電池を衝撃から保護、温度管理で電費削減、劣化抑制)・ギガキャスト(ボデーアルミ骨格)戦略を進め、カーメーカーとの協業やアライアンス活用によって、2025 年に 200 億円、2030 年に 2000 億円の売り上げを目指している。また、株主還元を強化し、PBR1 倍超(BPS7924.18 円)を目指すとしている。

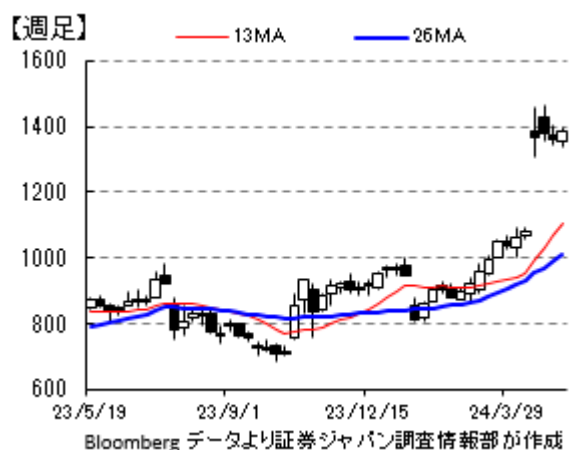


7599 I DOM

中古車買い取り最大手で、「ガリバー」ブランドを展開。小売りを強化中で、付帯サービスにも注力。個人間のカーシェアサービスも手掛けている。

24 年 2 月期業績は売上高が前期比 0.8%増の 4198.5 億円、営業利益が同 13.7%減の 161.1 億円となった。国内直営店の販売台数は同 8.7%増の 26.8 万台となり、このうち消費者向けの小売り台数は同 6.6%増の 14.4 万台と過去最高となった。台当たりの粗利も平均 41 万円で、前期並みを確保した。業者向けの卸売り台数もオークション相場の堅調を受けて、同 11.2%増の 12.4 万台と好調だった。コスト面では大型店出店に伴う広告宣伝費や新規採用の増加による採用コスト、人件費の増加などにより、販管費や一般管理費が増加し、利益を圧迫した。

続く 25 年 2 月期は、売上高 4565.0 億円(前期比 8.7%増)、営業利益 203.0 億円(同 26.0%増)を見込んでいる。なお、配当は配当性向 30%をめどに前期の 34.19 円から 40.63 円に増配予定。今期は大型店 15 店の出店(前期は 11 店)を計画しているほか、小売り台数 15~16 万台、卸売り台数 13 万台の計 28.5 万台の販売を計画している。また、価格設定の精度向上や小売りにともなう付帯収益増加の取り組みを実施し、小売台当たりの粗利向上(前期 41 万円→今期 40~43 万円)を見込む。また今回、中期経営計画の上方修正を発表しており、2027 年 2 月期までの大型店の出店数を従来の 50 店



舗から 66 店舗に拡大し、計 100 店舗を目指すとしている。小売り台数の増加により粗利水準を維持し、営業利益の目標も、従来の 210 億円から 300 億円に引き上げた。また、自社株取得策については PBR1 倍に近づいた際に検討するという。

(大谷 正之)

7751 キヤノン

2024 年 12 月期第 1 四半期の営業利益は前年比 5.2%減の 801 億円。プリンティング事業、インダストリアル事業の営業利益率は大きく改善した。一方、デジタルカメラや監視カメラなどイメージング事業の売上減少により営業利益は減益となった。

イメージング事業の不振は、世界経済の成長鈍化によって購入時期先延ばしや在庫削減の動きによるとしているが、今期はパリオリンピックによる需要の喚起が期待でき、市中在庫はいずれ正常化に向かうと考える。

インダストリアル事業では、FPD 露光装置はパネルメーカーが投資を控えている状況が続いたが、下期はパリオリンピックによるパネルの市中在庫調整により需給バランスの適正化が見込まれるとしている。半導体露光装置はパワーデバイス向けを中心に好調に推移して販売台数は前年同期を上回った。昨年 10 月に発売したナノインプリントリソグラフィ技術を使用した新方式の半導体製造装置（NIL）は、現在主流である ASML 社の投影露光技術とは異なる新たな方式で、回路パターンを刻み込んだマスク（型）をハンコのように押し付けて回路パターンを形成する。光学系という介在物がないため、マスク上の微細な回路パターンを忠実にウエハー上に再現でき、複雑な 2 次元、3 次元の回路パターンを 1 回のインプリントで形成することも可能となる。露光方式に比べ、消費電力は約 10 分の 1、複数回のエッチングが必要ないため作業時間も短縮できるなどメリットも多い。今後はマスクの改良により、2 ナノノードにあたる最小線幅 10nm レベルへの対応も進められており、大きなポテンシャルを秘めた製品であると考えられる。

通期の営業利益計画は前年比 15.9%増の 4350 億円。

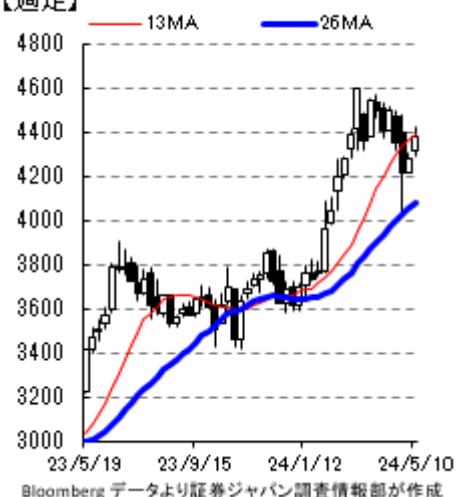
2024 年 ビジネスユニット別 PL(年間)

(億円)	2024年 最新見通し	2023年 実績	対前年	2024年 前回見通し	対前回
プリンティング					
売上高	23,938	23,461	+2.0%	23,890	+48
営業利益	2,606	2,283	+14.1%	2,559	+47
(%)	(10.9%)	(9.7%)		(10.7%)	
メディカル					
売上高	5,820	5,538	+5.1%	5,820	0
営業利益	460	316	+45.3%	460	0
(%)	(7.9%)	(5.7%)		(7.9%)	
イメージング					
売上高	9,000	8,616	+4.5%	9,008	-8
営業利益	1,438	1,456	-1.2%	1,472	-34
(%)	(16.0%)	(16.9%)		(16.3%)	
インダストリアル					
売上高	3,790	3,147	+20.4%	3,830	-40
営業利益	710	586	+21.2%	723	-13
(%)	(18.7%)	(18.6%)		(18.9%)	
その他及び全社					
売上高	1,960	2,088	-6.2%	1,840	+120
営業利益	-864	-863	-	-864	0
消去					
売上高	-1,008	-1,040	-	-888	-120
営業利益	0	-24	-	0	0
連結合計					
売上高	43,500	41,810	+4.0%	43,500	0
営業利益	4,350	3,754	+15.9%	4,350	0
(%)	(10.0%)	(9.0%)		(10.0%)	

※2024年第1四半期より、報告セグメントごとの業績をより適切に管理するため、その他及び全社と消去の一部を組み替えており、2023年についても組み替えて表示しております。

同社「2024 年第 1 四半期 決算説明会」より

【週足】



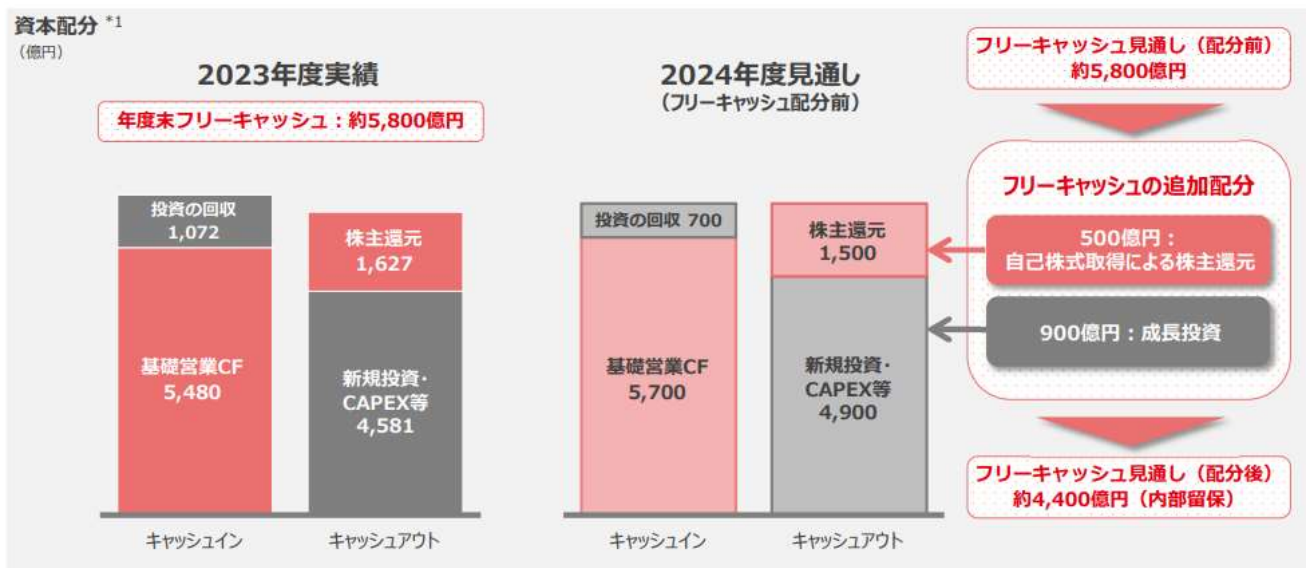
8002 丸 紅

前期の純利益は前年度比 13.2%減の 4714 億円。資源価格下落に伴う豪州原料炭事業などの減益や、前年度計上の Gavilon 穀物事業売却益の反動もあるものの、前年度損失計上したフォレストプロダクツ事業の反動、海外発電事業の増益などが寄与して計画の 4500 億円を上振れ、年間配当見込みも 83 円から 85 円に増額した（中間配 41 円 50 銭は実施済、期末配 43 円 50 銭）。

今期の純利益は前年比 1.8%増の 4800 億円を計画。セグメント別では、金属、電力などが弱含むものの、食料第二、アグリ、エネルギー、金融・リース・不動産が堅調な見通し。株主還元策として、中期経営計画で定めた 24 年度までは配当性向 25%以上と累進配当を方針としており、今期配当は 5 円増配の 90 円を見込む。また、前期並みの豊富なフリーキャッシュが見込まれるが、900 億円を非資源分野を中心に新規投資・CAPEX などの成長投資に、500 億円を自己株式取得に配分する旨を発表した（上限 3800 万株、発行済株式総数の約 2.3%）。残分約 4,400 億円については内部留保とし、バランスシートやキャッシュ・フローの状況を踏まえ、成長投資や、総還元性向 30%～35%程度を目安に株主還元への配分を検討する方針。

資本配分 2023 年度実績・2024 年度見通し 同社「2023 年度 決算 IR 資料」より

- 2024年度は、財務規律・投資規律を重視しながら、利益成長に向けた成長投資と株主還元の強化を継続
- 経営資源の追加配分余地であるフリーキャッシュ（2024年度末見通し：約5,800億円）の配分を決定
 - ①900億円：利益成長に向けた成長投資（新規投資・CAPEX等）
 - ②500億円：自己株式取得による株主還元
 残り約4,400億円を内部留保。バランスシートやキャッシュ・フローの状況を踏まえ成長投資、株主還元への配分を検討



^{*1} 営業資金の増減等を除く。株主還元については原資となる利益が帰属する年度での集計であり、キャッシュ・フローと異なる
なお今回決定した500億円の自己株式取得については、フリーキャッシュを用いることから2024年度に帰属



参考銘柄

6501 日立製作所

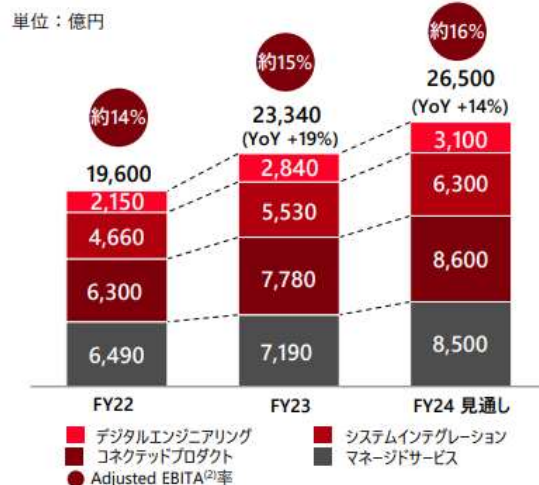
前期の売上高は前年比 11%減の 9 兆 7287 億円（計画 9 兆 4500 億円）、調整後営業利益は 1%増の 7558 億円（計画 7400 億円）と、ともに計画を上回った。日立 Astemo の持分法適用会社化などが減収減益要因となったものの、国内外のデジタル需要を取り込み Lumada 事業が拡大、日立エナジーや鉄道システム事業なども堅調に推移した。年間配当は前年より 35 円増配の 180 円を見込む。

今期は売上高 9 兆円、調整後営業利益 8550 億円を計画。株主還元策として、前年の倍の 2000 億円を上限とした自己株式取得を発表（上限 2100 万株、発行済株式総数の約 2.3%）。また、投資単位当たりの金額を引き下げる目的で 2024 年 6 月 30 日を基準日として 1 株を 5 株に分割する予定。

3 月に米 NVIDIA（エヌビディア）との協業を発表した。Lumada の AI ソリューションのライブラリと、NVIDIA AI Enterprise や Modulus のプラットフォームを統合するなど、日立のソリューションと NVIDIA の生成 AI のノウハウを組み合わせ、エネルギーや交通など OT 領域に展開する計画。開発中の AI インフラ製品「Hitachi iQ」は、第 1 四半期までに製品化する予定。

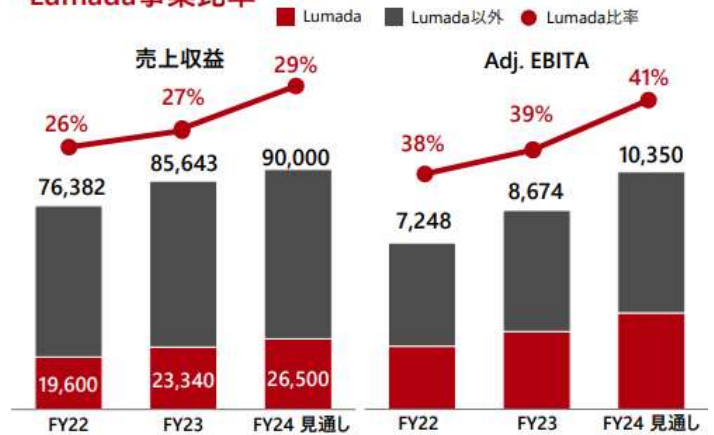
ルマダ事業 同社「2024 年 3 月期 連結決算の概要」より

Lumada事業 売上収益^(*)



(*)日立Astemoを除く

Lumada事業比率



Lumada事業 売上収益 セグメント内訳 (FY23)

デジタルシステム&サービス 10,470 (YoY +22%)	グリーンエネルギー&モビリティ 4,100 (YoY +29%)	コネクティブインダストリーズ 8,770 (YoY +12%)
---------------------------------------	--	---------------------------------------

Lumada事業の拡大

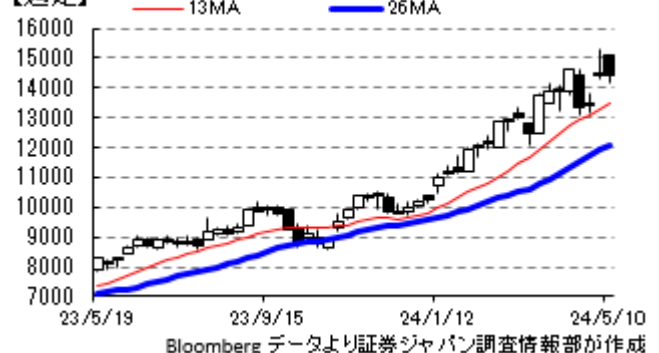
- 生成AIやクラウド活用によって高まるデータセンター需要への対応に向け、国内外の顧客・パートナーとの協創を加速
 - NVIDIAと協業開始し、ミッションクリティカルなOT領域での生成AI適用ソリューションの共同開発、生成AIインフラソリューション「Hitachi iQ^(*)」を提供
 - 国内外で生成AI関連の顧客協創が加速。GlobalLogicでは北米テック企業をはじめ幅広い業種で生成AI活用案件を受注
 - クラウド運用変革を支援するHARC^(*)が国内外で採用拡大、国内ではクラウド先進企業であるオリックス銀行のパートナーに選定
 - 日立のデータセンターから提供するマネージドクラウドサービス・生成AI共通基盤^(*)はカーボンニュートラル達成
- 鉄道車両製造のノウハウを活かした鉄道車両メンテナンス向け「Train Maintenance DX as a Service」サービス開始
- JFEスチールと共同で、鉄鋼業向けソリューションを提供開始、日立のAIによる自動制御技術とJFEスチールの操業ノウハウを活用したコンサルティングをグローバルに展開

(*)Hitachi iQ：NVIDIAの最新のAIテクノロジーをベースに、Hitachi Vantaraの次世代ストレージプラットフォームを組み合わせたAIソリューションのポートフォリオ

(*)HARC：Hitachi Application Reliability Centers

(*)生成AI共通基盤：パートナーのLLM(大規模言語モデル)と日立のナレッジを組み合わせ活用する生成AI利用環境

【週足】



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

6701 日本電気

前期の調整後営業利益は前年比 8.8%増の 2236 億円と、計画の 2200 億円を上回った。IT サービス事業が堅調であったことに加え、社会インフラ事業では、政府の防衛費の予算増加に伴い、航空・宇宙・防衛などの事業を担う「ANS（エアロスペース・ナショナルセキュリティ）」における 5000 億円超の受注も寄与した。

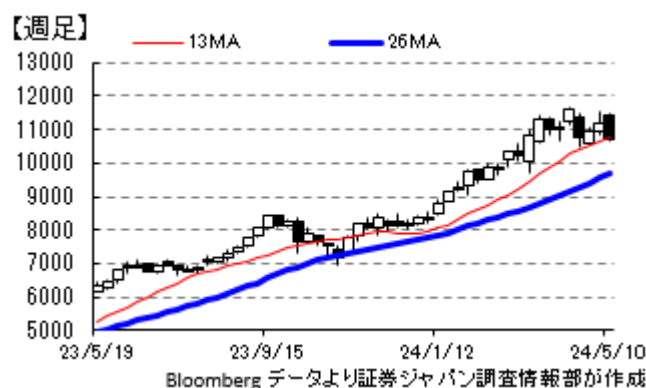
今期の調整後営業利益は前期比 14.1%増の 2550 億円、年間配当は 20 円増配の 140 円を計画。「2025 中期経営計画」は順調に推移しており、成長事業のコア DX 事業、DG/DF（デジタル・ガバメント/デジタル・ファイナンス）事業、グローバル 5G 事業などには 25 年度までに総額 5000 億円規模の投資を検討。低収益事業については、前期で 5 事業が調整後営業利益率 7%未満の水準から脱却、今後、改善が難しい事業は売却などを検討し見極めるとして、25 年度中に低収益事業をなくす見通しを示した。来期（26 年 3 月期）の調整後営業利益は 3000 億円、年間配当 160 円を目指す。

セグメント別（24 年度予想、中期経営計画進捗） 同社「2023 年度(24 年 3 月期) 通期決算概要」より

(億円)		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	2025年度 目標
ITサービス	売上収益	16,179	17,550	19,151	19,500	20,000
	調整後営業利益	1,372	1,680	2,081	2,220	2,400
	対売上比率 (%)	8.5%	9.6%	10.9%	11.4%	12.0%
社会インフラ	売上収益	9,293	10,622	10,840	11,800	12,500
	調整後営業利益	694	738	754	1,220	1,540
	対売上比率 (%)	7.5%	6.9%	7.0%	10.3%	12.3%
その他	売上収益	4,669	4,958	4,781	2,400	2,500
	調整後営業利益	215	238	184	-20	-630
	対売上比率 (%)	4.6%	4.8%	3.9%	-0.8%	
調整額	調整後営業利益	-572	-601	-783	-870	
差額*	売上収益					-
	調整後営業利益					-310
全社	売上収益	30,141	33,130	34,773	33,700	35,000
	調整後営業利益	1,710	2,055	2,236	2,550	3,000
	対売上比率 (%)	5.7%	6.2%	6.4%	7.6%	8.6%

*差額：ITサービス、社会インフラ、その他/調整額の合計と、全社目標との差額

展開を進めている生成 AI では、日本語に特化した LLM（大規模言語モデル）「cotomi」を使用し、業種に特化したサービスの第一弾として、生成 AI を搭載した電子カルテシステムの販売を開始している。パブリッククラウドに加えて、外部に接続せず自社内機器で運用（オンプレミス）できるのが利点。自治体向けでは、相模原市に提供を始めた。同社が強みを持つ様々な認証技術と組み合わせることにより、競争力の強い新たな製品・サービスへの展開に期待が持たれる。



(東 瑞輝)

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

<国内スケジュール>

5月13日(月)

4月マネーストック(8:50、日銀)

5月14日(火)

4月企業物価(8:50、日銀)

4月工作機械受注(15:00、日工会)

5月15日(水)

4月訪日外国人数(16:15、政府観光局)

5月16日(木)

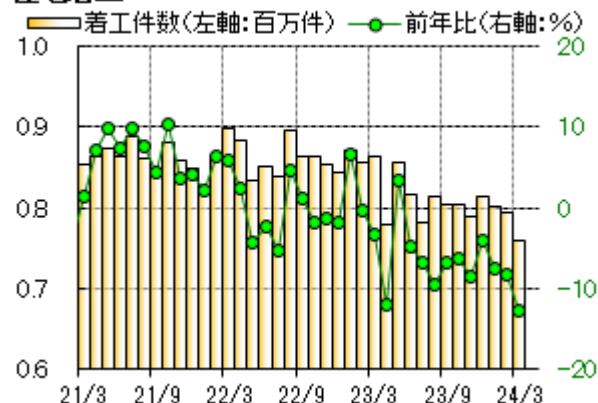
1~3月期GDP(8:50、内閣府)

5月17日(金)

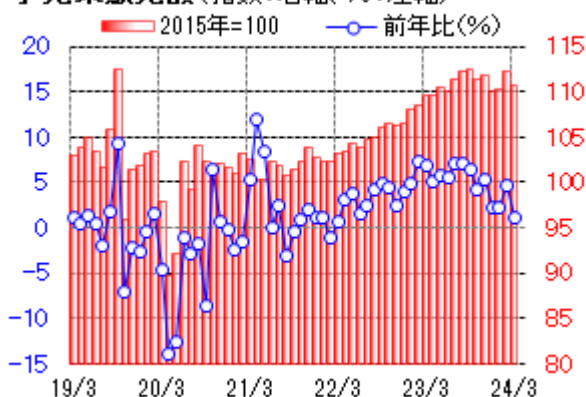
特になし

【参考】直近で発表された主な国内経済指標

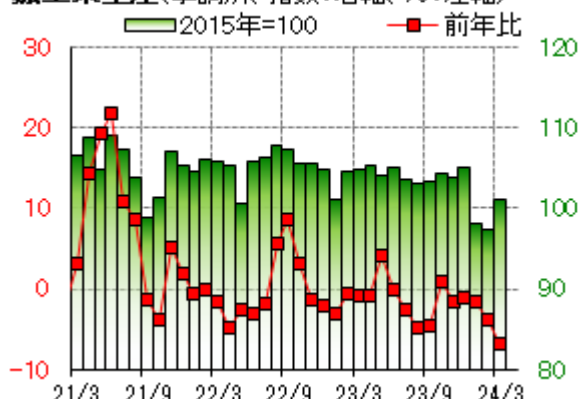
住宅着工



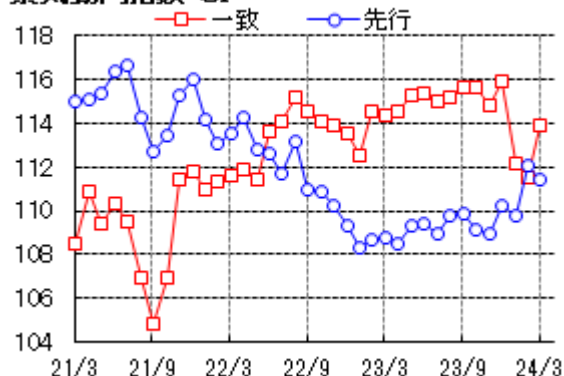
小売業販売額(指数:右軸、%:左軸)



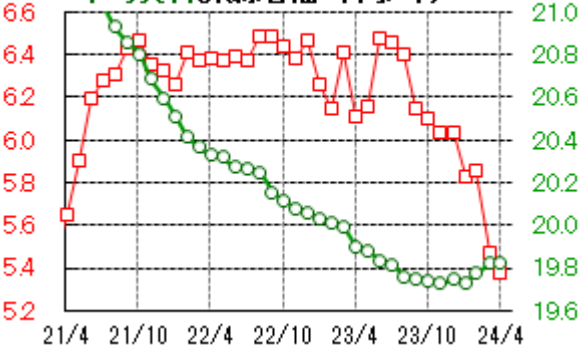
鉱工業生産(季調済、指数:右軸、%:左軸)



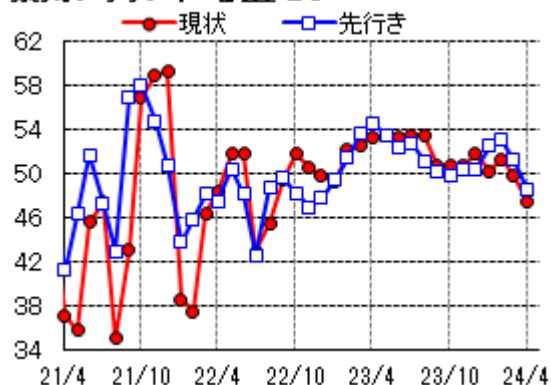
景気動向指数 CI



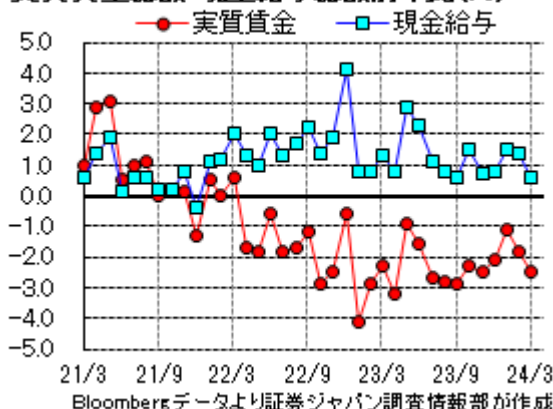
都心オフィス空室率(細線左軸:%)、 平均賃料(太線右軸:千円/坪)



景気ウォッチャー調査 DI



実質賃金総額・現金給与総額前年比(%)



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

タイムテーブルと決算予定（予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください）

＜海外スケジュール・現地時間＞

5月13日(月)

ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)

5月14日(火)

英 1～3月期失業率

独 5月ZEW景気期待指数

米 4月卸売物価

OPEC月報

EU財務相理事会(ブリュッセル)

5月15日(水)

米 4月消費者物価

米 4月小売売上高

米 5月NY州製造業景況指数

シンガポール首相交代

休場 香港、韓国(釈迦生誕節)

5月16日(木)

米 4月住宅着工件数

米 5月フィラデルフィア連銀製造業景況指数

米 4月鉱工業生産・設備稼働率

5月17日(金)

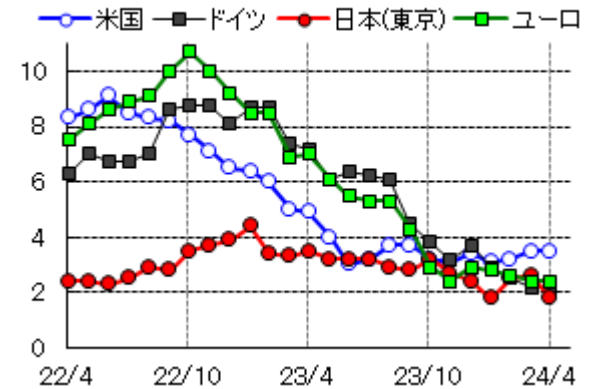
中 4月鉱工業生産、小売売上高

米 4月景気先行指数

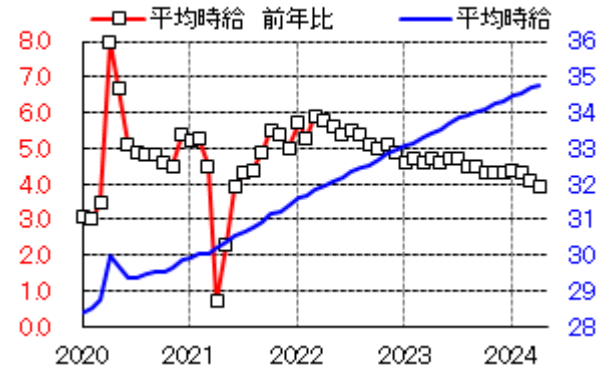
APEC貿易相会合(～18日、ペルー・アレキパ)

●【参考】直近で発表された主な海外経済指標

各国CPI前年比(%)



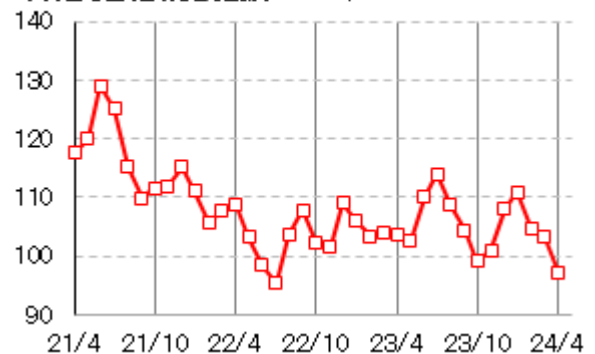
米国平均時給(右軸, \$)、同前年比(左軸, %)



ミシガン大消費者信頼感指数(速報含む) 1966年=100



米消費者信頼感指数 1985年=100

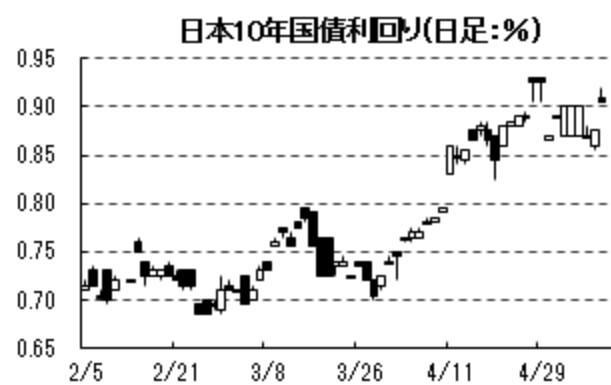
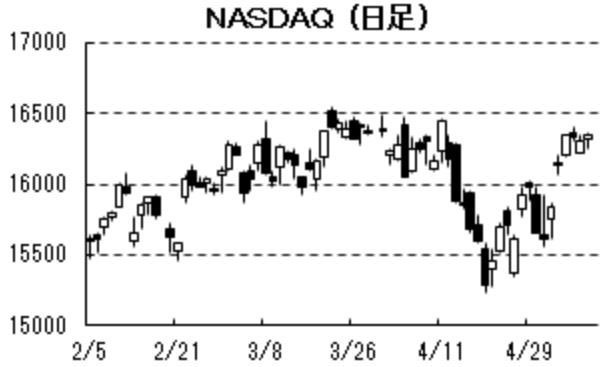
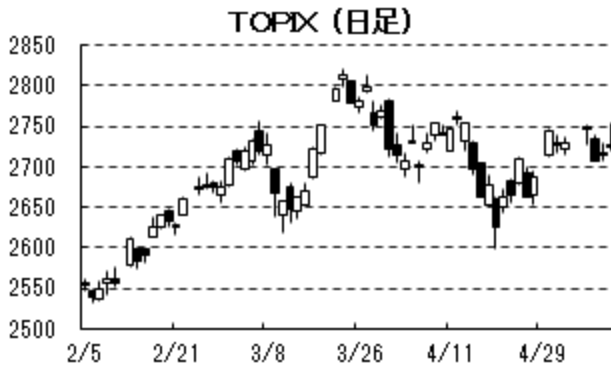


Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

(東 瑞輝)

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

5/10 16:31 現在



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

投資にあたっての注意事項

【重要開示事項】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 執筆アナリストは、本資料におけるレポート対象企業の有価証券を保有しておらず、重大な利益相反関係にありません。
- 本資料は証券ジャパンが信頼できると考える情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性および完全性について証券ジャパンが保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、証券ジャパンは、理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料に記載された証券ジャパンの意見ならびに予測は、資料作成時点での証券ジャパンの見通しであり今後予告なしに証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツおよび体裁等も証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。2024年5月10日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。
- 掲載した企業について株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。銘柄の選択、投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料は証券ジャパンの著作物であり、著作権法によって保護されております。証券ジャパンの事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行所住所等 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
編集発行責任者 増田 克実
商号等 株式会社証券ジャパン
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 170 号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

コンプライアンス推進部審査済 2024 年 5 月 10 日

『金融商品取引法』に係る重要事項について

■ 国内上場投資信託（ＥＴＦ）のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」・「為替変動リスク」・「カントリーリスク」・「信用リスク」及び「有価証券の貸付等におけるリスク」があります。基準価額の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内上場投資信託（ＥＴＦ）の手数料など諸経費について

- 国内上場投資信託（ＥＴＦ）の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合は、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 国内上場投資信託（ＥＴＦ）を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

■ 国内株式のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」と「発行者の信用リスク」があります。株価の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内株式の手数料など諸経費について

- 株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合は、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 株式を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

商 号 等
 加 入 協 会
 当 社 が 契 約 す る 特
 定 第 一 種 金 融 商 品
 取 引 業 務 に 係 る 指
 定 紛 争 解 決 機 関

三津井証券株式会社 金融商品取引業者
 北陸財務局長（金商）第 14 号
 日本証券業協会
 特定非営利活動法人
 証券金融商品あっせん相談センター

留意事項

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。